



令和5年3月定例会

大館市議会会議録（第1号）

自 令和5年2月27日 開会
至 令和5年3月20日 閉会

大 館 市 議 会

2月27日（月曜日）

第1日目

令和5年2月27日（月曜日）

議事日程第1号

令和5年2月27日（月曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案の上程

1. 報 第 1 号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
2. 報 第 2 号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
3. 認 第 1 号 専決処分の承認について（令和4年度大館市一般会計補正予算（第11号））
4. 議案第 1 号 職員の分限に関する条例の一部を改正する条例案
5. 議案第 2 号 大館市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案
6. 議案第 3 号 大館市子ども・子育て会議に関する条例の一部を改正する条例案
7. 議案第 4 号 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
8. 議案第 5 号 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
9. 議案第 6 号 大館市へき地保育所設置条例の一部を改正する条例案
10. 議案第 7 号 大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
11. 議案第 8 号 大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案
12. 議案第 9 号 大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案

13. 議案第 10 号 市道路線の認定について（代野道北10号線外 2 路線）
14. 議案第 11 号 令和 4 年度大館市一般会計補正予算（第12号）案
15. 議案第 12 号 令和 4 年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）案
16. 議案第 13 号 令和 4 年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）案
17. 議案第 14 号 令和 4 年度大館市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）案
18. 議案第 15 号 令和 4 年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）案
19. 議案第 16 号 令和 4 年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）案
20. 議案第 17 号 令和 4 年度大館市小規模水道等事業特別会計補正予算（第 1 号）案
21. 議案第 18 号 令和 4 年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第 2 号）案
22. 議案第 19 号 令和 4 年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第 1 号）案
23. 議案第 20 号 令和 4 年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）案
24. 議案第 21 号 令和 4 年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第 2 号）案
25. 議案第 22 号 令和 4 年度大館市奨学資金特別会計補正予算（第 1 号）案
26. 議案第 23 号 令和 4 年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第 3 号）案
27. 議案第 24 号 令和 4 年度大館市財産区特別会計補正予算（第 2 号）案
28. 議案第 25 号 令和 4 年度大館市水道事業会計補正予算（第 3 号）案
29. 議案第 26 号 令和 4 年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第 3 号）案
30. 議案第 27 号 令和 4 年度大館市下水道事業会計補正予算（第 3 号）案
31. 議案第 28 号 令和 4 年度大館市病院事業会計補正予算（第 5 号）案
32. 議案第 29 号 令和 5 年度大館市一般会計予算案
33. 議案第 30 号 令和 5 年度大館市国民健康保険特別会計予算案
34. 議案第 31 号 令和 5 年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案
35. 議案第 32 号 令和 5 年度大館市介護保険特別会計予算案
36. 議案第 33 号 令和 5 年度大館市介護サービス事業特別会計予算案
37. 議案第 34 号 令和 5 年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案
38. 議案第 35 号 令和 5 年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案
39. 議案第 36 号 令和 5 年度大館市休日夜間急患センター特別会計予算案
40. 議案第 37 号 令和 5 年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計予算案
41. 議案第 38 号 令和 5 年度大館市農業集落排水事業特別会計予算案
42. 議案第 39 号 令和 5 年度大館市温泉開発特別会計予算案
43. 議案第 40 号 令和 5 年度大館市奨学資金特別会計予算案
44. 議案第 41 号 令和 5 年度大館市都市計画事業特別会計予算案

45. 議案第 42 号 令和 5 年度大館市土地取得特別会計予算案
 46. 議案第 43 号 令和 5 年度大館市財産区特別会計予算案
 47. 議案第 44 号 令和 5 年度大館市水道事業会計予算案
 48. 議案第 45 号 令和 5 年度大館市工業用水道事業会計予算案
 49. 議案第 46 号 令和 5 年度大館市下水道事業会計予算案
 50. 議案第 47 号 令和 5 年度大館市病院事業会計予算案
 51. 議案第 48 号 議決内容の一部変更について（奥羽本線大館・白沢間中台橋補修補強
 工事の施行に関する協定の締結について）

出席議員（25名）

1 番	柳 館 晃 君	2 番	石 垣 博 隆 君
4 番	武 田 晋 君	5 番	佐 藤 久 勝 君
6 番	伊 藤 毅 君	7 番	日 景 賢 悟 君
8 番	阿 部 文 男 君	9 番	藤 原 明 君
10 番	田 中 耕太郎 君	11 番	佐々木 公 司 君
12 番	花 岡 有 一 君	13 番	佐 藤 眞 平 君
14 番	田 村 儀 光 君	15 番	小 畑 淳 君
16 番	笹 島 愛 子 君	17 番	小 畑 新 一 君
18 番	斉 藤 則 幸 君	19 番	岩 本 裕 司 君
20 番	田 村 秀 雄 君	21 番	佐 藤 芳 忠 君
22 番	富 樫 孝 君	23 番	明 石 宏 康 君
24 番	相 馬 エミ子 君	25 番	吉 原 正 君
26 番	菅 大 輔 君		

欠席議員（1名）

3 番 小棚木 政 之 君

説明のため出席した者

市	長	福 原 淳 嗣 君
副 市	長	名 村 伸 一 君
理	事	北 林 武 彦 君
総 務 部	長	日 景 浩 樹 君
総 務 課	長	乳 井 浩 吉 君
市 民 部	長	成 田 学 君
福 祉 部	長	菅 原 弥 生 君

産 業 部 長	畠 山 俊 英 君
観光交流スポーツ部長	阿 部 拓 巳 君
建 設 部 長	伊 藤 良 晋 君
病 院 事 業 管 理 者	吉 原 秀 一 君
市立総合病院事務局長	桜 庭 寿 志 君
消 防 長	虻 川 茂 樹 君
教 育 長	高 橋 善 之 君
教 育 次 長	成 田 浩 司 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	工 藤 仁 君
次 長	長 崎 淳 君
係 長	萬 田 文 英 君
主 査	石 田 徹 君
主 査	渡 部 慎 也 君
主 査	北 林 麻 美 君

午前10時00分 開 会

- 議長（藤原 明君） これより、令和5年大館市議会3月定例会を開会いたします。
出席議員は定足数に達しております。
よって、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
諸般の報告は、配付しております文書により御了承願います。
-
-

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（藤原 明君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本定例会の会議録署名議員は、6番 伊藤毅君、7番 日景賢悟君、8番 阿部文男君を指名いたします。
-
-

日程第2 会期の決定

- 議長（藤原 明君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本定例会の会期は、本日から3月20日までの22日間と定めたいと思います。
これに御異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
- 議長（藤原 明君） 御異議なしと認めます。
よって、会期は本日から22日間と決定いたしました。
なお、会期中の会議予定につきましては、配付しております日程表のとおりでありますからさよう御了承願います。
-
-

日程第3 議案の上程

- 議長（藤原 明君） 日程第3、議案の上程を行います。
報第1号、同第2号、認第1号、議案第1号から同第48号までの以上51件を一括上程いたします。
提出者の説明を求めます。

〔市長 福原淳嗣君 登壇〕

- 市長（福原淳嗣君） 3月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、12月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、8月の大雨による災害復旧事業等の進捗状況について。国の災害復旧事業の査定の状況については、農地・農業用施設は、57か所全ての査定が昨年12月23日をもって終了し、査定

額は3億4,277万円となり、年度内の工事発注を予定しております。林道施設は、査定を終えた15か所と市単独の災害復旧工事2か所を13件にまとめた工事発注とし、これまでに12件が発注済みで、残る1件も年度内に発注予定であります。道路、河川等は、昨年10月26日から12月8日まで37か所で査定が行われ、査定額は6億5,592万円となりました。工区を30件に集約し、これまで16件が発注済みで、残り14件のうち7件は年度内の発注を予定しております。年度内の発注が難しい7件については、準備が整い次第速やかに対応してまいります。水道施設は、昨年12月9日に査定が行われ、1か所1,013万円の査定額となり、年度内に発注予定であります。市の農地・農業用施設小災害復旧支援事業については、1月末時点で572件の申請がありました。これまでに267件の工事が完了し、5,445万円を交付しておりますが、工事業者の不足などにより年度内の完了が難しい残り305件については、令和5年度に予算を繰り越して対応してまいります。今後も、関係団体の協力を得ながら、一日も早い復旧を目指してまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

2、**秋田県冬期防災訓練の実施について**。2月19日、市役所本庁舎及び矢立地区を会場に、県と本市の共催により秋田県冬期防災訓練を実施しました。この訓練は、冬期における防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に、平成26年度から県内の特別豪雪地帯13市町村で持ち回りにより実施しており、本市では初めての開催となりました。当日は、国土交通省、陸上自衛隊、警察署、弘前地区消防事務組合、消防団、矢立地区自治会など21団体、約300人が参加し、大雪による交通障害などが発生している中、震度6強の直下型地震が発生したという想定の下、災害対策本部の運営、避難所の開設及び運営、立ち往生車両の救出など8種目の訓練を行いました。昨年12月には新潟県などで大雪による長時間の交通障害や停電、建物の損壊などが多数発生したことから、今後も関係機関との連携強化を図りながら、様々な災害を想定した訓練を積み重ね、防災力の向上に努めてまいります。

3、**脱炭素社会実現に向けた意見交換会について**。1月12日プラザ杉の子において、環境省と本市の共催により脱炭素社会実現に向けた意見交換会を開催し、各自治体が抱える課題を共有するとともに、脱炭素社会に向けた取組について意見を交わしました。当日は、鹿角市や北秋田市のほか、弘前市や黒石市、深浦町など、北東北の世界遺産登録地や国立公園周辺の12市町に御参加いただきました。意見交換では、花岡地区で行われている使用済みの小型家電からレアメタルを回収するリサイクル産業を紹介しながら、資源循環を含めた脱炭素先行地域として名乗りを上げる考えを述べるとともに、生物多様性の保全のため、国立公園などの保護地域を拡張する議論がなされていることに触れ、地方創生に向けた政策を引き続き推進していただくよう要望しました。環境省の松崎地球温暖化対策事業室長からは、本市の取組や政策の方向性を評価いただくとともに、循環経済とカーボンニュートラルの同時実現だけでなく、自然再興に向けた複合的な取組が今後ますます重要になることから、国としても連携して取り組んでまいりたいとの力強い発言を頂きました。今後も関係機関との連携を深め、ゼロカーボンシ

ティの実現を目指してまいります。

4、**物価高騰緊急支援事業等について。**電力、ガス、灯油などのエネルギー価格や食料品などの物価高騰の影響を踏まえ、住民税非課税世帯等へ給付金等を支給する2つの事業を実施しました。1つ目のエネルギー・食料品等価格高騰緊急助成事業は、県の補助を受け、住民税非課税世帯に対し一世帯当たり1万5,000円を支給するもので、1月末で申請を締め切り、その対象となる8,807世帯の87.31%に当たる7,690世帯に給付しております。2つ目の電力・ガス・食料品価格高騰緊急支援給付金は、国の補助事業であり、住民税非課税世帯に対し一世帯当たり5万円を支給するもので、同じく1月末で申請を締め切り、対象となる9,168世帯の96.78%に当たる8,873世帯に給付しております。今回の事業効果を検証しながら、今後も市民が安心して暮らすことができるよう社会情勢の変化に注視し、必要な対策を講じてまいります。次に、市内の民間福祉関連施設に対する光熱費等に係る補助事業については、県の補助を受けて実施しており、障害者支援施設は58施設に676万円、保育園等は13施設に867万円、高齢者介護施設は79施設に1,894万円を交付する予定であり、対象となる全事業所への補助を見込んでおります。また、市の指定管理施設につきましても、支援を実施するため、本定例会に関連予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

5、**子どもの遊び場について。**昨年12月22日、ニプロハチ公ドームパークセンター内に子どもの遊び場をオープンし、連日多くの御家族に御利用いただいております。一日で200人近い利用があった日もあり、2月12日にはオープンからの利用者数が2,500人に達しました。木製のボールプールや積み木など様々な木のおもちゃを備え、中でも東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザに使用された大館市産の秋田杉を再利用した滑り台が、特に人気を集めています。また、オープンに合わせて自動ドアや手すりを改修したほか、飲食可能な休憩室や授乳スペース、おむつ替えシートを備えたトイレを整備するなど、さらなる利便性向上を図ったところです。利用者からは、天候に左右されずに遊べる施設が大館にできてうれしいとの好評を頂いており、引き続き多くの方に御利用いただけるよう周知してまいります。

6、**大館市高齢者地域支え合い支援事業について。**今年度から実施している本事業は、地域における高齢者の見守りや多世代交流を通じて、地域の支え合い意識を醸成することを目的として、各種行事を開催する町内会等の団体に補助金を交付するものです。実施に当たっては、各地区で開催される町内会連絡協議会などの場をお借りして事業の周知を図り、189団体において、多世代交流や高齢者の見守り活動を兼ねた記念品配布事業、複数の町内会合同での交流事業などに補助金を活用いただきました。本事業は、本市が目指す市民の誰もが安全・安心に暮らすことのできるまちづくりに向けた取組の一つであり、今後もより多くの団体に活用していただけるよう周知してまいります。

7、**コロナワクチン接種について。**オミクロン株に対応した2価ワクチンの接種については、12月17日、18日、24日、25日の4日間、タクミアリーナを会場に、合わせて約1万7,000人へ

の集団接種を実施いたしました。また、11月から開始した高齢者施設入所者等への巡回接種は、2月22日までに約3,000人への接種を終えたほか、1月からは大館記念病院など3か所で個別接種を実施しており、2価ワクチンの接種者は、これまで約4万4,600人となっております。なお、3月末の特例臨時接種の実施期間まで、継続して乳幼児及び小児を含む市民への接種機会を提供するとともに、現在、国の専門部会で検討されております来年度以降のワクチン接種については、その決定を踏まえ、接種体制やスケジュール等を医師会など関係機関との協議のもと、速やかに周知してまいります。

8、令和5年度の生産の目安と農業者の支援について。米の需要と供給のバランスを考慮した適切な指標を農業者に示すため、大館市農業再生協議会において、JAあきた北や集出荷事業者、認定農業者の会などと協議した上で、本市の令和5年産米の生産の目安を、前年比360トン増の2万407トン、主食用米の作付割合を55.1%と決定し、昨年12月28日に集出荷事業者などへ通知しました。一方、農業者に対する支援策については、引き続き国の制度を活用した重点戦略作物などへのかさ上げ助成を行い、複合経営への取組を支援してまいります。

9、林業振興の取組状況について。1月11日に、市有林2,295ヘクタールの森林認証を取得しました。認証は、適正に管理された森林であることを示すものであり、近年、認証材への需要が高まってきていることから、ほかの生産地との差別化が可能になるものです。また、昨年12月には三ノ丸庁舎に、くぎや接着剤を使わない秋田杉の積層材を使用した打合せスペースとウェブ会議専用ブースを設置しました。木材利用促進のPRのほか、新たな木質素材の普及拡大による山元への利益還元と地場競争力の向上のため設置したものであり、市内外の来庁者や林業関係者から高い関心が寄せられております。今後も森林の適正な管理と持続可能な森林経営を推進するとともに、豊かな森林資源を次世代へと継承し、資源循環型社会の実現に取り組んでまいります。

10、コロナウイルス感染症に係る支援策の状況について。(1)事業継続力強化支援事業。新商品・新サービスの開発や業務のデジタル化、事業継続計画、BCPの策定など、中小事業者によるコロナ禍後を見据えた取組102件を支援し、新たな時代に即した経営基盤の強化を図りました。

(2)大館の食タクシー事業及び特産品送料助成事業。1月末現在、大館の食タクシー事業は、利用件数が6,018件、売上額は約2,500万円、特産品送料助成事業は、利用件数が4万4,632件、売上額は約3億600万円となっております。両事業とも一定の役目を果たしたものと捉え、今年度をもって終了いたしますが、原油価格等の高騰により事業者は依然として厳しい状況にあることから、事業者の創意工夫を後押しする施策を検討してまいります。

11、原油価格高騰対策の状況について。(1)中小事業者カーボンニュートラル推進事業。事業者の省エネルギー化を図り、原油価格の影響に左右されにくい経営体制を確立するため、県と連携しながら、36事業者の脱炭素化に向けた設備導入や断熱改修工事などを支援し、カーボン

ニュートラルの推進を図りました。

(2)物流事業者支援事業。県と連携しながら、原油価格の高騰に伴う影響が顕著な物流事業者27者に対し、車両総数399台の各走行距離に応じた支援を実施し、地域社会を支える物流の維持を図りました。

12、**企業の設備投資と雇用対策の状況について**。花岡地区では、株式会社エコリサイクルが、12月23日に、あきた企業立地促進助成事業補助金の採択を受け、工場の増設を決定しました。これは、家電等リサイクルの品質及び処理量の強化を図るもので、設備投資額10億円で今春着工し、操業開始は令和6年度を、新規雇用は10人を見込んでおります。釈迦内産業団地では、北秋容器株式会社がバイオマス発電用燃料の増産に向け、設備投資額5億円で木質チップ製造工場を増設し、今年7月の操業開始、5人の新規雇用を予定しております。さらには、東光鉄工株式会社が洋上風力発電関連の受注を目指し、設備投資額11億円で工場の増設を進めております。操業開始は釈迦内工場が今年6月、二井田地区の本宮工場が令和6年度、新規雇用は両工場を合わせて11人を見込んでおります。一方、ハローワーク大館管内における有効求職者数が昨年12月に初めて1,000人を下回り、910人となったほか、有効求人倍率が1.91倍と過去最高を記録しました。また、今春高校卒業予定の就職希望者157人のうち県内希望者が前年同期比2人減の113人、割合で3.7ポイント減の72%となり、企業の人手不足はより深刻さを増しております。こうした状況を踏まえ、地元企業の魅力を伝えるべく、高校2年生を対象とした大館・北秋地区企業説明会を2月2日に開催したところ、40事業者、550人の生徒の参加がありました。引き続き関係機関と連携を図りながら、地元企業の魅力をより積極的に発信し、地域の労働力確保に努めてまいります。

13、**未来おおだてサミットについて**。本事業は大館の未来を支える人材の育成を目的に初めて実施したもので、1月10日から13日までの4日間、本市の中学2年生8人が友好都市である鹿児島県南種子町のJAXA種子島宇宙センターなどを訪れ、ロケットや飛行機など国内最先端の技術を見学していただきました。南種子町の訪問時においては、同センターに勤務する本市出身の技術者から御講話いただいたほか、南種子中学校との交流、小園町長への表敬訪問などを行い、町を挙げて盛大に歓迎いただいたところです。このほか、宇宙機器製作やエンジン開発を担う名古屋市三菱重工業や、都内にあるANAグループの機体工場や訓練施設なども見学し、専門的な知識に触れていただきました。1月26日に行われた参加者の報告会では、今回の経験を自分の成長につなげ、大館のために生かしたいなどの感想が語られ、本事業が生徒たちの視野を広げる機会となったことを実感しました。今後も、本市の未来を担う子供たちが様々な経験を通して成長できるよう、機会の創出に努めてまいります。

14、**大館能代空港羽田線3往復運航による利用状況等について**。大館能代空港の令和4年度の乗降客数は、1月末現在で12万665人であり、前年比で8万4,567人の増加となりました。また、3往復運航が始まった7月以降の乗降客数は9万5,092人となり、10月以降、月ごとの乗

降客数は4カ月続けて過去最高を記録しております。市民向けの運賃助成事業については、国の全国旅行支援による観光需要の拡大や、大館能代空港利用促進協議会のキャッシュバックキャンペーンとの相乗効果により、申請件数が堅調に推移しております。また、本市が行ったアンケートの結果によると、乗降客の年代は50代の利用が一番高く、10代、20代の利用が全体の6.1%と著しく低いことから、若年層への利用促進策について検討してまいります。また、3月24日には、国の羽田発着枠政策コンテストにおいて、有識者による3往復運航後の取組を検証する懇談会が予定されております。圏域人口52万人の強みを生かした取組と実績をPRするとともに、3往復運航の定着化に向け、引き続き県や関係団体と連携し、利用促進に努めてまいります。

15、**ハチ公生誕100年事業について。**(1)**親子料理教室。**本事業は、食をテーマとした関係人口の創出とハチ公生誕100年事業のPRを目的として、1月15日、渋谷区で、同区在住の小学生とその保護者を対象に開催いたしました。当日は、陽気な母さんの店の御協力の下、本場大館のきりたんぼ鍋作り体験が行われ、参加者からは、今度は大館で味わってみたいなどの感想をいただきました。引き続き様々な取組を通じ、大館をPRしてまいります。

(2)**ウィンタースクール in 秋田大館。**2月11日、12日の2日間、一般社団法人渋谷区観光協会の協力の下、3年ぶり2回目となるウィンタースクール in 秋田大館を開催しました。渋谷区の小学生18人が本市を訪れ、雪遊びやきりたんぼ鍋作りなどの体験や、冬の風物詩であるアメッコ市の見学などのほか、有浦小学校の児童とボッチャを通じた交流も行い、本市の魅力に触れていただきました。あわせて、10日から13日まで、ANAグループスタッフを招いたモニターツアーも行い、観光・交流分野の課題の洗い出しや助言を頂いたところです。今後とも、関係人口の創出に向けて、体験型コンテンツのさらなる磨き上げに努めてまいります。

(3)**忠犬ハチ公銅像維持会賀詞交歓会。**1月20日、渋谷区において、忠犬ハチ公銅像維持会賀詞交歓会が開催され、藤原議長、忠犬ハチ公銅像及び秋田犬群像維持会の富樫会長らとともに出席いたしました。長谷部渋谷区長をはじめとした参加者の皆様と新年を祝うとともに、ハチ公が11月に生誕100年を迎えることから、関係団体が連携して祝福ムードを高めていくことを確認いたしました。また、改めて渋谷区と本市の絆の深さを感じたところであり、今後も、忠犬ハチ公のふるさと大館の魅力を広く発信するとともに、渋谷区とのつながりをさらに深めてまいります。

16、**冬季の観光イベントについて。**(1)**比内とりの市。**1月28日、29日の両日、比内グラウンドを主会場に、3年ぶりに開催され、悪天候にもかかわらず、市内外から1万3,000人の来場者でにぎわいました。昨年8月の大雨による災害で比内地鶏の不足が心配されましたが、関係各位の御尽力により一定程度確保することができ、多くの方に味わっていただきました。来年は40回目の節目の年でありますので、比内地鶏の魅力をさらにPRし、誘客に努めてまいります。

(2)大館アメッコ市。2月11日、12日の両日、おおまちハチ公通りを会場に、2年ぶりに開催され、2日間で5万9,000人の来場者でにぎわいました。コロナ禍前と同様の規模で行われ、約62店が出店し、ステージイベントや白髭大神巡行、名物のからみ飴サービスなど、会場は大いに盛り上がりました。今回の開催は、実行委員会及び関係者の皆様の熱い思いのたまものであると考えており、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、会場には外国人観光客の姿も多く見られ、人の流れが戻りつつあることを実感したところであり、引き続き誘客に力を入れるとともに、400年以上続く文化の継承に努めてまいります。

17、**タイ王国との交流について**。1月25日、駐日タイ王国特命全権大使のシントン・ラーピセートパン閣下にお招きいただき、藤原議長、小畑教育産業常任委員長とともに、在東京タイ王国大使館を表敬訪問しました。これは、本市が東京2020パラリンピックのホストタウンであったことを契機として、タイ王国と様々な交流を重ね、絆を深めてきたことから実現したものです。シントン閣下からは、昨年8月に本市を訪れた際に受けた歓迎やパラリンピック後も続く交流への感謝のほか、本市の産業分野にも強い関心を寄せていただき、今後も様々な分野で交流を深めていきたいとお言葉を頂いております。今後も、スポーツや文化だけではなく、産業や教育など多分野での交流を推進するとともに、多文化共生への理解の醸成へも努めてまいります。

18、**J R下川沿駅前公衆トイレの完成について**。J R奥羽本線下川沿駅前にバリアフリー仕様の公衆トイレを新たに整備し、2月1日から供用を開始しました。これは、公共下水道の整備に合わせ、地域の衛生環境の改善、鉄道利用者の利便性向上のため、地元からの要望を実現したものであります。建設に際しては、J R東日本秋田支社から敷地の無償使用に御配慮いただいたほか、町内会をはじめ地元住民の皆様にご協力いただき心より感謝を申し上げます。今後も、通勤や通学はもちろん、下川沿地区周辺を訪れる方にも快適に利用していただけるよう適切な管理に努めてまいります。

19、**水防功労者国土交通大臣表彰受賞について**。昨年8月3日からの大雨災害における水防活動で著しい功績があったとして、大館市消防団が令和4年度水防功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。これは、団員延べ226人が出動し、河川等の警戒巡視や浸水防止の土のうの設置、排水活動、住民の避難誘導などにより、人命の安全確保と被害の軽減に貢献したことが高く評価されたもので、本県では唯一の受賞であります。2月7日には国土交通省で表彰式が行われ、齋藤大臣から齋藤団長へ表彰状が授与されました。この受賞を励みに、引き続き災害に強い安全・安心なまちづくりに向けて取り組んでまいります。

続きまして、提出いたしました議案につきまして、主な内容を御説明申し上げます。

報第1号及び報第2号は、専決処分の報告についてであります。

報第1号は、令和4年11月26日に比内町中野字中落合地内の市道達子森合線において、走行中の軽乗用自動車道路欠損部に落ち、車両の一部が破損した事故についての和解及び損害賠

償であります。報第2号は、令和4年10月19日に釈迦内字街道上地内において、本市所有の普通乗用自動車コンクリート塀に接触し破損させた事故についての和解及び損害賠償であります。これらにつきまして、相手方と和解に至ったことから、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分をさせていただきましたので、御報告申し上げるものであります。

認第1号は、令和4年度大館市一般会計補正予算（第11号）に係る専決処分の承認についてであります。

これは、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業について、令和4年4月1日以降に出産された方に対する給付金の支給に早急に着手する必要性がありましたこと、また、本年1月までの除排雪状況とその後の降雪予測により、既定の除排雪経費の不足が見込まれましたことから、これらを合わせまして、歳入歳出とも2億5,744万6,000円を追加計上することについて、本年1月31日付で専決処分させていただいたものであります。

議案第1号は、職員の分限に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、職員の定年年齢の引上げに伴う降給について、必要な事項を定めるため、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第2号は、大館市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、パートタイム会計年度任用職員の期末手当の支給額を、任用期間に応じた額とするため、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第3号は、大館市子ども・子育て会議に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、条例で引用している条項にずれが生ずることから、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第4号は、大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定めた内閣府令の一部改正により、懲戒権に関する規定が削除されたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第5号は、大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めた厚生労働省令の一部改正により、懲戒権に関する規定が削除されたこと並びに利用乳幼児の安全確保に関する計画の策定及び送迎用自動車等を運行する場合の利用乳幼児の所在確認に係る基準等について規定されることから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第6号は、大館市へき地保育所設置条例の一部を改正する条例案であります。

これは、入所児童数が減少し、集団保育が困難となっている真中保育所を令和5年3月31日をもって廃止しようとするものであります。

議案第7号は、大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案であります。

これは、健康保険法施行令の一部が改正され、出産育児一時金の支給額が引き上げられることから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第8号は、大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案であります。

これは、道路法施行令の一部改正により、国道に係る占用料の額が改定されることから、本市においても国に準じ、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第9号は、大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、市立病院の使用料の適正化を図るため、分べん介助料及び新生児管理保育料について、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第10号は、市道路線の認定についてであります。

これは、大館市開発指導要綱に基づく開発行為に伴い築造された道路及び生活関連道路を市道に認定し、管理しようとするものであります。

議案第11号は、令和4年度大館市一般会計補正予算（第12号）案であります。

今回の補正は、基金積立金の追加及び4年度の各事業費の精算などが中心となっており、歳入歳出ともに8億6,831万1,000円を追加し、補正後の予算総額は437億8,779万7,000円となる見込みです。歳入の補正の主な内容について申し上げますと、市税及び地方交付税を追加、国庫支出金で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を追加、寄附金でふるさと応援寄附金を追加、繰入金で財政調整基金繰入金を減額、市債で臨時財政対策債を減額しております。次に、歳出の補正の主な内容を申し上げます。総務費では地域振興基金、ふるさと応援寄附基金、新型コロナウイルス感染症対策基金の各積立金を追加したほか、減債基金積立金を計上、民生費で子どものための教育・保育給付費負担金を減額、土木費に生活バス路線維持費補助金を計上、公債費に市債の繰上償還に充てるための長期債償還元金を追加しています。

また、第2条第2表に継続費の補正を、第3条第3表に16件の繰越明許費を、第4条第4表には13件の地方債の補正について、それぞれ御提案申し上げます。

議案第12号から議案第24号までの13件は、令和4年度各特別会計における補正予算案であります。

主なものについて申し上げます。議案第12号は保険給付費の減などに伴う大館市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案であり、今回の補正は4,998万4,000円の減額、補正後の予算総額は70億9,461万7,000円となります。議案第13号は後期高齢者医療広域連合納付金の減に伴う大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は3,095万9,000円の減で、補正後の予算総額は10億4,908万8,000円となる見込みです。議案第14号は保険給付費

の減などに伴う大館市介護保険特別会計補正予算（第3号）案です。今回の補正は5億1,717万2,000円の減額、補正後の予算総額は108億703万7,000円となる見込みです。議案第23号は都市計画事業費の減などに伴う大館市都市計画事業特別会計補正予算（第3号）案であり、今回の補正は6,053万2,000円の減額で、補正後の予算総額は4億6,373万1,000円となる見込みです。そのほか、いずれの特別会計についても事業費の精算と併せて所要の補正を行うものです。

議案第25号は、令和4年度大館市水道事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。補正後の予算総額は、収入では給水収益の減額等により15億6,957万4,000円、支出では修繕費の減額等により14億8,757万6,000円となる見込みです。次に、資本的収入及び支出であります。補正後の予算総額は各事業費の精算等により、収入では4億9,313万円、支出では11億4,562万7,000円となる見込みです。

このほか、第5条に企業債の限度額、第6条に経費の流用に関する事項、第7条に他会計からの補助金について、それぞれ変更をお願いしております。

議案第26号は、令和4年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。補正後の予算総額は、収入では給水収益の減額等により8,878万6,000円、支出では材料費の減額等により8,785万6,000円となる見込みです。次に、資本的収入及び支出です。今回は支出のみの補正で、補正後の予算総額は各事業費の精算等により、6,971万3,000円となる見込みです。

このほか、第5条に他会計からの補助金について変更をお願いしております。

議案第27号は、令和4年度大館市下水道事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。補正後の予算総額は、収入では消費税及び地方消費税還付金の減額等により14億3,130万5,000円、支出では減価償却費及び企業債利息の減額等により15億7,252万2,000円となる見込みです。次に、資本的収入及び支出であります。補正後の予算総額は、収入、支出ともに、各事業費の精算等により収入では25億3,071万3,000円、支出では30億3,744万5,000円となる見込みです。

このほか、第5条から第8条に企業債の限度額等に関する事項につきまして変更をお願いしております。

議案第28号は、令和4年度大館市病院事業会計補正予算（第5号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。補正後の予算総額は、収入では患者数の減少等により127億2,526万円、支出では給与費の減額等により134億15万円となる見込みです。次に、資本的収入及び支出です。補正後の予算総額は、収入、支出ともに各事業費の精算等により収入では7億7,857万7,000円、支出では11億3,313万2,000円となる見込みです。

このほか、第5条に企業債に関する限度額の変更を、第6条から第8条までに、それぞれの事項の変更を御提案申し上げます。

議案第29号は、令和5年度大館市一般会計予算案であります。

一般会計の当初予算総額は347億6,313万2,000円となり、前年度当初予算対比で1億2,461万3,000円、0.4%の減であります。歳出から主な内容を御説明いたします。総務費では大館駅周辺整備事業費、ふるさと応援寄附推進事業費など46億4,642万8,000円を計上、民生費ではほっとワンツー応援事業費や障害者自立支援給付費、生活保護扶助費など122億7,375万1,000円を計上、衛生費では病院事業への負担金等のほか、斎場建設事業費など44億665万6,000円を計上、農林水産業費では多面的機能支払交付金事業費や新規就農対策事業費、森林経営管理事業費など8億7,406万2,000円を計上、商工費には中小企業金融対策事業費や大館駅インランドデポ推進事業費、ハチ公生誕100年プロジェクト事業費など15億373万4,000円を計上、土木費には包括管理業務費、大館版m o b iプロジェクト事業費、田代地域コミュニティバス事業費など18億1,225万6,000円を計上、消防費には高機能型消防指令システム更新事業費など13億4,929万8,000円を計上、教育費には小中学校教育用コンピュータ整備事業費や放課後児童健全育成事業費など31億1,552万4,000円を計上しております。次に、歳入について主な内容を申し上げます。基幹収入であります市税は76億5,729万7,000円で、市民税個人及び市民税法人については増を見込んでいます。前年度当初予算対比で1億1,850万9,000円、1.6%の増となっております。地方交付税は114億7,000万円で、地方財政計画における伸び率等を勘案し、前年度当初予算対比で1億7,000万円、1.5%の増となっております。国庫支出金では障害者自立支援給付費負担金、生活保護費負担金、都市構造再編集中支援事業費補助金など40億6,172万9,000円を計上、県支出金では子どものための教育・保育給付費負担金や福祉医療費補助金、新規就農者経営発展支援事業費補助金など23億8,452万7,000円を計上、繰入金に財政調整基金繰入金やふるさと応援寄附基金繰入金など25億4,501万7,000円を計上、市債に地域活性化対策事業債や道路橋梁整備事業債など21億4,400万円を計上しています。

このほか、第2条第2表に6件の債務負担行為の設定を、第3条第3表に17件の地方債の限度額等の設定を、第4条に一時借入金の限度額の設定を、また、第5条には予算の流用に関する事項について、それぞれ御提案申し上げます。

議案第30号から議案第43号までの14件は、令和5年度各特別会計における予算案であります。特別会計の当初予算総額は、193億1,243万2,000円となっております。

主なものについて申し上げます。議案第30号は大館市国民健康保険特別会計予算案で、予算総額は68億364万2,000円、議案第32号は大館市介護保険特別会計予算案で、予算総額は106億4,143万1,000円、議案第38号は大館市農業集落排水事業特別会計予算案で、予算総額は4億345万円、議案第41号は大館市都市計画事業特別会計予算案で、予算総額は2億3,686万5,000円となっております。

議案第44号は、令和5年度大館市水道事業会計予算案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。収入は15億8,321万8,000円とし、支出は15億1,988万6,000円としています。次に、資本的収入及び支出であります。収入は5億9,419万4,000円

とし、支出は10億9,074万5,000円としています。

議案第45号は、令和5年度大館市工業用水道事業会計予算案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。収入は9,506万2,000円とし、支出は9,429万7,000円としております。次に、資本的収入及び支出であります。収入は8,000円とし、支出は6,613万円としています。

議案第46号は、令和5年度大館市下水道事業会計予算案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入は14億1,433万8,000円、支出は16億1,397万7,000円としています。次に、資本的収入及び支出です。収入は18億5,120万8,000円、支出は23億7,017万2,000円としています。

議案第47号は、令和5年度大館市病院事業会計予算案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入は127億2,704万3,000円とし、支出は131億8,181万9,000円としています。次に、資本的収入及び支出であります。収入は12億6,044万円とし、支出は16億129万8,000円としています。

議案第48号は、本日提出いたしました議案で、議決内容の一部変更についてであります。

これは、令和2年12月定例会において議決いただきました奥羽本線大館・白沢間中台橋補修補強工事の施行に関する協定について、完成図書の作成等に係る費用の見直しにより事業費が減額となることから、協定の変更について議会の議決をお願いするものであります。

以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（藤原 明君） これより、ただいまの上程議案に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原 明君） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（藤原 明君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、3月6日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前11時07分 散 会
